CHECKLIST

四十九日法要の準備チェックリスト

日程の相談から納骨まで、順番に✓を付けて使う｜施主の挨拶の例文・案内状の文例つき

亡くなった日 年　月　日(　)	**四十九日(亡くなった日＋48日)** 月　日(　)
法要の日時 月　日(　)　時	**会場**
お寺(菩提寺)・宗派	**施主**
納骨 する(場所:　　)／しない	**会食(お斎)** する(場所:　　)／しない

四十九日の数え方:亡くなった日を1日目として49日目(七七日・満中陰)。日付は「亡くなった日＋48日」です(天台宗・浄土宗・浄土真宗本願寺派)。例:4月1日に亡くなった場合は5月19日(浄土宗の中陰表で同じ結果)。天台宗の法話は、水曜日に亡くなった方は初七日が火曜日で、四十九日まで毎火曜日と説明しています。浄土宗の中陰表には前夜(逮夜)から数える計算もあり、その場合は1日早くなります。

このチェックリストの使い方

1. 上の欄に、亡くなった日と四十九日の日付を書き入れます。
2. 2〜3ページの準備の項目を、上から順に進めます。終わった項目の□に✓を付け、決まったことはメモ欄に書きます。
3. 4ページに、案内する方のお名前と出欠を書き込みます。案内状の文例は6ページ、施主の挨拶の例文は5ページです。
4. 日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で違います。迷ったことは2ページのメモ欄に書き、菩提寺に確かめてください。

四十九日のあとの日付のメモ

百カ日(亡くなった日を入れて百日目・真宗大谷派):　月　日　　一周忌(年は回忌早見表で確認):　年　月　日

 個人利用の範囲で自由に印刷・複製いただけます。

宗派の本山の公式サイト・全日本仏教会・法律の説明をもとにした一般的なチェックリストです。日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で異なるため、菩提寺(お付き合いのあるお寺)に確認してください。

四十九日法要の準備チェックリスト

準備のチェックリスト(1)まず決めること・参列者への案内と会食

まず決めること

✓	#	準備すること・確かめること	メモ
☐	1	**四十九日の日を数える** 亡くなった日を1日目として49日目(亡くなった日＋48日)が四十九日(七七日・満中陰)です。浄土宗の中陰表には、前夜(逮夜)を基点にする計算もあります。(天台宗・浄土宗・浄土真宗本願寺派) → 法事の回忌早見表(四十九日の計算)(当サイト)	四十九日:　月　日
☐	2	**菩提寺に連絡し、法要の日程を相談・依頼する** 日取りが内定したら、まず菩提寺に連絡して日程を調整します(寺院の行事が予定されていることがあるため)。曹洞宗は法事一般の日取りについて、遅くても1カ月くらい前までに決めるよう説明しています。(曹洞宗・真宗大谷派)	法要の日時:　月　日　時
☐	3	**会場を決める(自宅・お寺など)** 真宗大谷派は、四十九日法要をご自宅やお寺でおつとめすると案内しています。自宅で営む場合は、まずお仏壇を荘厳する(整える)と曹洞宗は説明しています。(真宗大谷派・曹洞宗)	会場:
☐	4	**納骨も同じ日にするか決める** 納骨の時期に決まりはなく、四十九日や百か日など法要の節目に合わせることが一般的です(真宗大谷派)。家族と相談して決めます。(真宗大谷派・浄土真宗本願寺派)	納骨:する／しない

参列者への案内と会食

✓	#	準備すること・確かめること	メモ
☐	5	**参列者を決めて案内する(電話・案内状)** 近親者だけなら電話連絡でもすみ、故人に縁の深い人を招く場合は案内状を出すのが丁寧です(曹洞宗)。真宗大谷派も、日程を決めてお寺に依頼した次に、参列者の確認・案内(家族・親族・関係者)を挙げています。(曹洞宗・真宗大谷派) → 案内状の文例は6ページ	人数:　人
☐	6	**案内に会場までの地図と、塔婆を立てるかを書き添える** 曹洞宗は、案内状に法事の行われる場所までの案内図や塔婆建立の有無を書き添えるとよいと説明しています。塔婆を立てるかどうかは、お寺に確かめます。(曹洞宗)	塔婆:立てる(　本)／立てない
☐	7	**お斎(会食)をするか決め、する場合は準備する** お斎は仏事の際にいただく食事です(天台宗・真宗大谷派)。真宗大谷派は、参列者への挨拶・お斎(会食)の準備を「希望があれば」としています。(天台宗・真宗大谷派)	会食:する(場所:　　)／しない
☐	8	**参列者へのお礼の品・香典返しをどうするか家族で決める** 香典返し(関西地方などでは満中陰志)の時期・品物の表書きと、品物に添える挨拶状の文例は、当サイトの別のページで確かめられます。 → 香典返しの時期とのしの早見表(当サイト)	

お寺に確かめることのメモ(日取り・塔婆・位牌・納骨のお勤め・当日用意するもの・お布施など)

宗派の本山の公式サイト・全日本仏教会・法律の説明をもとにした一般的なチェックリストです。日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で異なるため、菩提寺(お付き合いのあるお寺)に確認してください。

四十九日法要の準備チェックリスト

準備のチェックリスト(2)用意するもの・当日とそのあと

用意するもの・お寺に確かめること

✓	#	準備すること・確かめること	メモ
☐	9	**お布施を用意する** お布施はサービスの対価ではなく(全日本仏教会)、金額に決まりはありません(真宗大谷派)。真宗大谷派は、地域の方に聞いたり、住職に事前に尋ねたりしてみてはと案内しています。表書きは「御布施」で、曹洞宗・真宗大谷派は「御法礼」も挙げています。(全日本仏教会・真宗大谷派・曹洞宗) → お布施の封筒の書き方(当サイト)	
☐	10	**位牌・中陰壇の扱いをお寺に確かめる** 浄土宗は、四十九日までお祀りする白木の「仮位牌」と、お仏壇にお祀りする「本位牌」があると説明しています。浄土真宗本願寺派は位牌を用いず、過去帳に法名などを記します。真宗大谷派は、満中陰の法要後に中陰壇を片付けると案内しています。(浄土宗・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派)	
☐	11	**納骨する場合は、火葬許可証と墓地・納骨堂、お寺への依頼を確かめる** 墓地の管理者は、火葬許可証(改葬のときは改葬許可証)などを受理した後でなければ焼骨の埋蔵をさせてはならないと、墓地埋葬法第14条第1項が定めています。浄土真宗本願寺派は、お墓に納める時は手次ぎのお寺に依頼して納骨のお勤めをしてもらうよう案内しています。(墓地埋葬法・浄土真宗本願寺派) → 火葬許可証・埋葬許可証の早見表(当サイト)	許可証の保管場所:
☐	12	**服装と数珠を用意する** 施主の側は略礼服等が一般的で、施主も参列者も数珠(念珠)を持参します(曹洞宗)。真宗大谷派は参列者の服装として、喪服または派手ではない清楚な服装で、お念珠(数珠)を持参するよう案内しています。(曹洞宗・真宗大谷派)	

当日と、そのあと

✓	#	準備すること・確かめること	メモ
☐	13	**施主の挨拶を考えておく(法要の始め・終わり・会食)** 曹洞宗は、法要の始めに施主が「ただいまから〜を営ませていただきます」といった趣旨のあいさつを述べ、終わったら無事終了した旨のあいさつを述べる(簡単なあいさつでよい)と説明しています。(曹洞宗) → 挨拶の例文は5ページ	
☐	14	**いただいた香典・供物を記録する** 香典返しやお礼の送り先を確かめるために、いただいた日・お名前・金額などを香典帳に書き留めておけます。 → 香典帳のテンプレート(当サイト)	
☐	15	**次の法要(百カ日・一周忌)の日を確かめる** 真宗大谷派は、満中陰の法要後、次は百カ日(亡くなった日を入れて百日目)の法要と案内しています。一周忌からの年は回忌早見表で確かめられます。(真宗大谷派) → 法事の回忌早見表(当サイト)	百カ日:　月　日

当日の持ち物(施主)

- ☐ お布施(表書きは「御布施」。曹洞宗・真宗大谷派は「御法礼」も)
- ☐ 数珠(念珠)
- ☐ 火葬許可証(納骨する場合。火葬場で火葬の記入を受けたもの)
- ☐ 香典帳(いただいた香典・供物の記録)
- ☐ 挨拶のメモ(5ページの例文)
- ☐ お寺に頼まれたもの:

宗派で違う点(各宗派の公式サイトの説明)

- 位牌:浄土宗は四十九日まで白木の「仮位牌」、お仏壇に正式な「本位牌」。浄土真宗本願寺派は位牌を用いず過去帳に記す。
- 中陰壇:真宗大谷派は満中陰の法要後に片付ける。
- 香典の表書き:曹洞宗は葬儀＝御霊前、法事＝御仏前。真宗大谷派は「御香儀」か「御仏前」(浄土真宗では「霊」として祀らない)。
- 忌明け:天台宗は四十九日法要で忌明けとする例が多く、五七日を忌明けにする地域もあると説明。

宗派の本山の公式サイト・全日本仏教会・法律の説明をもとにした一般的なチェックリストです。日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で異なるため、菩提寺(お付き合いのあるお寺)に確認してください。

四十九日法要の準備チェックリスト

参列者・連絡のメモ（案内した方・出欠・会食）

曹洞宗は、近親者だけの法事なら電話連絡だけでもすみ、故人に縁の深い人びとを招く場合は案内状を出すのが丁寧と説明しています。案内した方と出欠を書き留めておくと、会食や品物の数を決めるときに使えます。

お名前	ご関係	連絡の方法 電話・案内状・メール	出欠	会食	メモ

宗派の本山の公式サイト・全日本仏教会・法律の説明をもとにした一般的なチェックリストです。日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で異なるため、菩提寺（お付き合いのあるお寺）に確認してください。

四十九日法要の準備チェックリスト

施主の挨拶の例文(法要の始め・終わり・会食の前とお開き)

曹洞宗は法事の説明で、施主が始めに「ただいまから〜を営ませていただきます」といった趣旨のあいさつを述べ、法要が終わったら無事終了した旨のあいさつを述べる、簡単なあいさつでよいとしています。下の例文は**当サイトの書き下ろし**で、決まった言い回しではありません。〇〇を故人の名前・続柄・会場に置き換えて使ってください。宗派を問わず使えるよう、「冥福」「霊前」などの言葉は使っていません。

A1 法要の始め(僧侶が入場される前に)

本日はお忙しいところ、父 〇〇〇〇 の四十九日法要にお集まりいただき、ありがとうございます。
ただいまより、四十九日の法要を営ませていただきます。
〇〇寺のご住職に、お勤めをお願いしております。どうぞよろしくお願いいたします。

- 曹洞宗は、法事の始めに施主が「ただいまから〜を営ませていただきます」といった趣旨のあいさつを述べると説明しています。
- お寺で営むときは、挨拶をする時機をお寺に確かめてください。
- 「四」「九」を避けたいときは「七七日の法要」と書き換えられます(当サイトの提案)。

A2 法要の終わり(このあと会食をする場合)

本日はご多用のなか、父 〇〇〇〇 の四十九日法要にお参りいただき、誠にありがとうございました。
おかげさまで、滞りなく法要を終えることができました。
葬儀の折から皆さまには温かいお心遣いをいただき、家族一同、心より感謝しております。
ささやかではございますが、別室にお食事を用意しております。お時間の許す限り、父の思い出話などをお聞かせいただければ幸いです。

- 曹洞宗は、法要が終わったら施主が無事終了した旨のあいさつを述べ、簡単なあいさつでよいと説明しています。

A3 法要の終わり(会食をしない場合・続けて納骨をする場合)

本日はご多用のなか、父 〇〇〇〇 の四十九日法要にお参りいただき、誠にありがとうございました。
おかげさまで、無事に法要を終えることができました。
(納骨をする場合)このあと〇〇霊園にて納骨をいたします。お時間の許す方は、ご一緒いただければ幸いです。
(品物を用意した場合)ささやかな品をご用意いたしましたので、お持ち帰りください。
本日は本当にありがとうございました。

- 薄い字の「(〜場合)」は選び方の説明書きです。当てはまらない行は削ってください。
- お斎(会食)の準備は「希望があれば」と真宗大谷派は案内しています。会食をしないことをお詫びする言葉は入れていません。

A4 会食(お斎)の前に

皆さま、長い時間お付き合いいただき、ありがとうございました。
ささやかではございますが、お食事をご用意いたしました。
父の思い出などを語り合いながら、どうぞごゆっくりお過ごしください。

- 会食の始めにどのような作法をするかは、家族で決めてください。文例は、食事の席へのご案内だけにしています。
- 真宗大谷派は、お斎は仏事法要後の単なる食事でも宴会でもないと説明しています。

A5 会食の終わり(お開きのとき)

本日は最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。
皆さまから伺った父の話を、家族で大切にしていきたいと思います。
今後とも、変わらぬお付き合いをお願いいたします。
どうぞお気をつけてお帰りください。

- 品物をお渡しする場合は、「ささやかな品をご用意いたしましたので、お持ち帰りください」の一文を足せます。

宗派の本山の公式サイト・全日本仏教会・法律の説明をもとにした一般的なチェックリストです。日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で異なるため、菩提寺(お付き合いのあるお寺)に確認してください。

四十九日法要の準備チェックリスト

案内状の文例(親族への手紙・はがき／近親者へのメール・LINE)

曹洞宗は、法事の案内状に定型はないとし、法事の行われる場所までの案内図や塔婆建立の有無も書き添えておくとよいと説明しています。下の文例は**当サイトの書き下ろし**です。案内状を出す時期の決まりは、今回確認した宗派の公式サイトでは確かめられませんでした。香典返し(関西地方などでは満中陰志)に添える挨拶状の文例は、当サイトの「会葬礼状と香典返しの挨拶状の文例」(www.fureaino-oka.com/sogi/reijo)にあります。

B1 案内状(はがき・手紙で親族や故人と縁の深い方へ)

拝啓

父 ○○○○ の葬儀に際しましては、ご丁重なお心遣いをいただき、誠にありがとうございました。

このたび、下記のとおり四十九日の法要を営むことといたしました。

ご多用中まことに恐縮ではございますが、ご参列くださいますよう、ご案内申し上げます。

敬具

記

日時　令和○年○月○日（○曜日）　午前○時より

場所　○○寺（○○市○○町○丁目○番○号）

（会食をする場合）法要のあと、○○にて粗餐をご用意しております。

（納骨をする場合）法要のあと、○○墓地にて納骨をいたします。

（塔婆を立てる場合）塔婆をお申し込みの方は、○月○日までにお知らせください。

お手数ながら、ご出欠を○月○日までにお知らせください。

令和○年○月

（住所）○○市○○町○丁目○番○号

施主　○○○○

- 曹洞宗は、法事の案内状に定型はないとし、法事の行われる場所までの案内図や塔婆建立の有無も書き添えておくとよいと説明しています。地図は別の紙で同封できます。
- 薄い字の「(～場合)」は選び方の説明書きです。当てはまらない行は削ってください。返信はがきを同封するときは、最後の一文を「同封のはがきにて」と書き換えます。
- 「四」「九」を避けたいときは「七七日の法要」と書き換えられます(当サイトの提案)。

B2 近親者への連絡(メール・LINEで送る場合)

件名：父の四十九日法要のご案内

○○おじさん

父の葬儀では、何かと助けていただき、ありがとうございました。

四十九日の法要を、次のとおり行います。

日時：○月○日（○）○時から

場所：○○寺（○○市○○町）

（会食をする場合）法要のあと、近くの○○で食事を用意しています。

ご都合を○月○日までに教えていただけると助かります。

○○

- 曹洞宗は、近親者だけの法事なら電話連絡だけでもすむと説明しています。電話の代わりに文字で日時と場所を送っておくと、あとで見返せます(当サイトの提案)。

宗派の本山の公式サイト・全日本仏教会・法律の説明をもとにした一般的なチェックリストです。日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で異なるため、菩提寺(お付き合いのあるお寺)に確認してください。

四十九日法要の準備チェックリスト

出典と確認日・お布施の金額について

お布施の金額について

お布施はサービスの対価ではなく(全日本仏教会)、本来金額にも決まりはありません(真宗大谷派)。真宗大谷派は、地域の方に聞いたり、お世話になるお寺の住職に事前に尋ねたりしてみてはと案内しています。このチェックリストでは、お布施・香典・会食などの金額を示していません。

納骨の書類(墓地、埋葬等に関する法律)

- 墓地の管理者は、火葬許可証(改葬のときは改葬許可証)などを受理した後でなければ、焼骨の埋蔵をさせてはならない(第14条第1項)。納骨堂も同じく、火葬許可証または改葬許可証を受理した後でなければ焼骨を収蔵してはならない(第14条第2項)。
- 火葬場の管理者は、火葬を行ったときは火葬許可証に省令の定める事項を記入し、火葬を求めた者に返す(第16条第2項)。納骨の日まで、なくさないように保管します。
- 墓地・納骨堂の管理者は、受理した許可証を受理した日から5年間保存する(第16条第1項)。納骨の日取りや手続きは、管理者ごとに確かめてください。

出典(2026年10月22日確認)

- 浄土宗「よくあるご質問」(中陰表／お位牌／お香典・お布施)
  jodo.or.jp/faq/
- 浄土宗「中陰表・年回表」(計算ツール。令和8年4月1日没の例で七七日5/19・逮夜日5/18を確認)
  jodo.or.jp/tool/
- 天台宗「葬儀と供養について」・法話集「年回の数え方がわからないのですが」・「Q&A」
  www.tendai.or.jp/sougi/ www.tendai.or.jp/qa/
- 曹洞宗 曹洞禅ネット「法事の営み方」
  www.sotozen-net.or.jp/ceremony/memorial/hoji
- 浄土真宗本願寺派(西本願寺)「よくあるご質問」
  www.hongwanji.or.jp/faq/list.html
- 真宗大谷派(東本願寺)「仏事のこと」「葬儀・法事・お墓のこと」
  www.higashihonganji.or.jp/teachings/
- 全日本仏教会「「Amazonのお坊さん便 僧侶手配サービス」について理事長談話」(2015年12月24日)
  www.jbf.ne.jp/info/detail?id=14255
- 墓地、埋葬等に関する法律 第2条第3項・第14条第1項・第2項・第16条第1項・第2項(e-Gov法令検索)
  laws.e-gov.go.jp/law/323AC0000000048

四十九日の数え方や準備の段取りを定めた法令はありません。宗派・地域・お寺によって異なる点は宗派名を明示して載せています。真言宗各派・日蓮宗・臨済宗の説明は今回確認していません。挨拶・案内状の例文は当サイトの書き下ろしです。

 個人利用の範囲で自由に印刷・複製いただけます。
宗派の本山の公式サイト・全日本仏教会・法律の説明をもとにした一般的なチェックリストです。日取り・作法・お布施は宗派・地域・お寺で異なるため、菩提寺(お付き合いのあるお寺)に確認してください。